

愛努民族文化財團台灣研修報告

アイヌ民族文化財團台灣研修報告

Report of the Foundation for Ainu Culture's Visit to Taiwan

文・圖 | 落合研一 (北海道大學愛努・先住民研究中心准教授)、古巢晴香、笹村律子、源島美咲、猪子真奈実、桐田晴華、秋元阿弥、上河彩 (愛努民族文化財團民族共生象徵空間UPOPOY工作人員)

譯者 | 廖彥琦 (專業翻譯)

文責・図 | 落合研一 (北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授)、古巢晴香、笹村律子、源島美咲、猪子真奈実、桐田晴華、秋元阿弥、上河彩 (アイヌ民族文化財團民族共生象徵空間UPOPOY職員)

訳者 | 廖彥琦 (専任通訳者)



研修1日目、烏來老街。
研修第1天，烏來老街。



研修1日目、南勢川の看板。
研修第1天，南勢溪的告示板。

日本では2020年7月、国立アイヌ民族博物館などを含む「民族共生象徵空間」、アイヌ語の愛称「UPOPOY (おおぜいで歌うこと)」が北海道白老町に開設された。UPOPOYは、アイヌ民族に関する理解促進とアイヌ文化の復興・創造等の拠点となるナショナルセンターであり、2019年4月に制定された「アイヌ施策推進法」に基づき、UPOPOY構成施設の管理、アイヌ文化の振興等の業務を「適正かつ確実に行うことができる」国内唯一の法人として国から指定された公益財団法人アイヌ民族文化財團によって運営されている。財團の常本照樹理事長が、UPOPOYの魅力が高めるために台湾の先進的な取組に学ぼうと、台湾研修を企画したところ、UPOPOYでアイヌ文化の実演に従事している職員等が参加することになった。【落合研一】

日本 2020年7月在北海道白老町開設了涵蓋國立愛努民族博物館在內的「民族共生象徵空間」，愛努語暱稱為「UPOPOY (意指大家一起唱歌)」。UPOPOY是一做為理解促進愛努民族與復興、創造愛努文化等據點的國際中心，以2019年4月制定的《愛努施策推進法》為基礎，由國家指定、做為「能夠適當公正且確實執行」UPOPOY組織設施的管理、愛努文化振興等業務的國內唯一法人，即公益財團法人愛努民族文化財團負責營運。財團的常本照樹理事長，為了提升UPOPOY的魅力，想要學習台灣先進的做法，因而規劃了此次台灣研習，邀集在UPOPOY從事愛努文化實際演出的工作人員參加。【落合研一】

台灣研修1日目

—新北市烏來區原住民編織協會

研修初日は、新北市烏來區を訪れました。烏來泰雅民族博物館は、工事中で残念ながら見学できませんでしたが、常本理事長の説明を聞きながら、烏來老街を歩きました。その老街の横を流れる南勢川の看板を見て、私たちは驚きました。看板に原住民族の言語も表記されていて、落合先生からこのことが法律で定められていると教わったからです。

烏來區まで行く烏來觀光トロッコは、烏來の自然を眺めることができ、とても新鮮でした。元は日本統治時代に日本の企業が、森林伐採した木材や道具などの運搬で使っていた物だと知り、「現在は観光客を楽しませる乗り物であっても、私たちはこういう過去の事実を忘れてはいけない」と心に刻みました。

トロッコを降りてすぐに織物協会の方々

台灣研修第1天

—新北市烏來區原住民編織協會

研修第一天，我們到新北市烏來區。烏來泰雅民族博物館，因正進行改善工程，無法參觀學習很可惜，聽聞常本理事長的說明介紹，我們在烏來老街散步。看到流經老街旁的南勢溪的告示板，我們十分驚訝。看板上也標明了原住民族語，落合老師告訴我們這是由於法律規定所致。

行駛到烏來區的烏來觀光台車，可以眺望烏來的自然景色，讓人感到十分新奇。得知那是日治時期日本企業為了載運砍伐森林的木材與工具等而使用的設施，也把「即使現在是讓觀光客搭乘的交通工具，我們依舊不能忘記有著那段過去的事實」牢記於心。

一下台車，馬上就受到織物協會



研修1日目、織物体験。
研修第1天，織物體驗。

成員唱歌歡迎，非常地感動。即使不知道歌詞的意思，但卻消除了由此展開的研修的不安，是非常歡樂的歌曲。另外，也有用日本語跟我們交談的人，真是十分開心。

織物體驗是非常難得的經驗。特別是在腳邊的大型木製工具的角度只能用自己的腳踝去做調整，這對腳踝不靈活的筆者而言，覺得滿困難的。透過協會的說明，讓我們徹底了解，不只是手，腳也要一邊動作的織布，雖然是有難度的技術，但過去泰雅族女性的社會地位卻是透過織布技術的優劣而被加以評斷。在織物體驗後，我們也穿上了泰雅族的

服裝。因為是很細密的織物，讓我們感覺不出有穿著的負擔，讓人十分訝異。

晚餐則是享用了泰雅族的傳統料理。我們自己剖開竹筒飯的體驗很有趣。另外也品嚐到許多佳餚，不過當使用泰雅族傳統辛香料「馬告」的魚料理上菜時，格外興奮。在研修之前就十分喜歡，真的非常美味。

在這次的研修中，有關文化與技術的傳承自然不用說，而作為

の歌の歓迎を受け、とても感動しました。言葉はわからなくても、これから始まる研修の不安を打ち消してくれる、とても楽しい歌でした。また、日本語で話しかけてくださる方もいらして、とてもうれしかったです。

織物体験はとても貴重な経験になりました。特に、足元にある大きな木製道具の角度を自分の足首だけで調節するのは、足首が硬い筆者にとって、とても困難でした。手だけでなく足も動かしながら織るのは、難しい技術ではありますが、昔の泰雅族の女性の社会的地位が織

物の技術によって判断されたという説明にも得心が이었습니다。織物体験の後には、泰雅族の衣装を着させていただきました。とても綿密な織物で、着させていただけるとは思っていなかったで、とても驚きました。

昼食は、泰雅族の伝統的な料理をいただきました。竹筒飯を自分たちで割る体験は面白かったです。その他にもたくさん料理をいただきましたが、泰雅族の伝統的な香辛料「馬告」を使った魚料理が出た時は、興奮しました。研修前から気になっていましたが、とてもおいしかったです。

今回の研修では、文化や技術の伝承はもちろん、UPOPOYスタッフとして接客サービスについて、より深く勉強させていただきました。この研修で得たことをUPOPOYで発揮できるように、日々精進して参ります。最後に、私事ではありますが、古巣は今回の研修で見学できなかった烏來泰雅民族博物館へ、9月末に両親と共に訪れる予定です。研修でお世話になった方とまたお会いできるので、とても楽しみです！【古巢晴香、笹村律子】

台湾研修2日目

—順益台湾原住民博物館と国立政治大学原住民民族研究センター

研修2日目は、まず順益台湾原住民博物館



研修1日目、竹筒飯を自分たちで割る体験。
研修第1天，自己剖開竹筒飯的體驗。

UPOPOY工作人員在待客服務方面，讓我們更加深切地學習到許多。希望能在UPOPOY發揮這次研修所獲，每天更加精進。最後，說件個人的事，在這次研修中沒能拜訪的烏來泰雅族民族博物館，古巢預計9月底將與雙親一同前往參觀。由於能夠再次與研修期間關照我們的各位見面，真的是非常期待！【古巢晴香、笹村律子】

台灣研修第2天

—順益臺灣原住民博物館與國立政治大學原住民族研究中心

研修第2天，首先到順益臺灣原住民博物館。對研修生而言，這也是台灣研修期間第一個與原住民族相



研修2日目、順益台灣原住民博物館の日本人スタッフが日本語で施設内を案内してくださいました。
研修第2天，順益臺灣原住民博物館日本工作人員用日語為我們介紹了館內設施。

を訪れました。研修生にとって台湾研修で最初の原住民族に関する博物館ということもあり、学びの多い滞在になることを予感しながら訪れました。台湾の原住民族の文化を知りたいという気持ちはもちろん、来館者が学ぶための工夫や収蔵品の見せ方などについても関心を持って見学させていただきました。

台湾在住の日本人スタッフが日本語で施設内を案内してくださいました。原住民族の生活や文化、展示の見どころをわかりやすくガイドしていただき、日本人の原住民族研究者の存在など、訪れた日本人として知っておくべきことも学びました。国内外からの来館者にも正しくわかりやすく理解してもらうために、専門のガイドの存在はとても大きいものだと感じました。

研修生は皆、「展示物の豊富さ」に驚いていました。「生活と道具」、「服飾と文化」と

關的博物館，預感這是一段可以學習到很多的停留而前往拜訪。想要認識台灣原住民族文化的心情不用說，我們對於館方為了參訪者學習所策畫的巧思與蒐藏品的展示等也很感興趣而參觀學習。

住在台灣的日本工作人員用日語為我們介紹了館內設施。以淺顯易懂的方式為我們導覽了原住民族的生活與文化，以及展示值得一看之處，由於已有從事原住民族研究的日本人等，也可以學習到身為前去參觀的日本人應該要先知道的背景知識。為了要讓來自國內外的參訪者也能夠正確並淺顯易懂地理解，我們感受到專業解說的存在是非常重要的環節。

研修生大家對於「展示品之豐



研修2日目、順益台灣原住民博物館復元したパイワン族の伝統的家屋にパイワン族に伝わる神話のアニメーション投影をした展示。

研修第2天，順益臺灣原住民博物館在已修復的排灣族傳統家屋上投影流傳在排灣族的神話動畫等的展示。

いったテーマに分けられ、地下1階から地上3階までの4フロアそれぞれに各原住民族の資料が並ぶ展示室は、とても見応えがありました。各民族文化の違いもよくわかり、原住民族文化の多様性を体感できる施設だと感じました。特に目を引いたのが展示資料と映像のコラボでした。石板彫刻にマッピング映像を投影しパイワン族の狩猟前の占いの様子を表している展示や、復元したパイワン族の伝統的家屋にパイワン族に伝わる神話のアニメーション投影をした展示は、文化や信仰を伝えるのに効果的でわかりやすく印象的でした。他にも、資料をより見やすくする独立型の展示ケースなど、展示資料との距離感の近さも学びやすい環境の要因となっていると思いました。

この博物館を訪れたことで、原住民族のこれからを担う世代や、台湾を訪れた他の民族に文化や歴史を伝えるための環境づくりについて、深く学ぶことができました。【源島美咲】

午後は、國立政治大學原住民族研究中心を訪れました。ここでは、原住民族の言語教育、文

富」感到十分驚訝。區分成「生活與器具」、「衣飾與文化」等主題，從地下1樓到3樓的4個樓層分別陳列原住民各族文物資料的展示室，是非常值得參觀的。各民族文化不同之處也能清楚了解，讓人感受到那是可以實際體會到原住民族文化多樣性的設施。特別吸引人的是展示資料與影像的結合。無論是在石板雕刻上投影動態影像，表現排灣族狩獵前占卜模樣，或在已修復的排灣族傳統家屋上投影流傳在排灣族的神話動畫等的展示，在傳達文化與信仰等面向上是有其效果且淺顯易懂讓人印象深刻。另外，為了更容易看到文物的獨立式展示櫃等，讓我們體認到與展示資料貼近的距離感也是營造容易學習環境的主要原因。

藉由參觀此一博物館，關於肩負原住民族未來的世代，以及打造為了對造訪台灣的其他民族傳達文化與歷



研修2日目、国立政治大学原住民族研究センターを訪れました。
研修第2天，拜訪國立政治大學原住民族研究中心。

化交流など様々な活動が、学内の人材だけにとどまらず、多くの人によって積極的に行われているというお話を詳しく聞くことができました。

例えば、16民族40方言別に9段階ある全360冊もの言語教材を作成したり、原住民族言語版Wikipediaの登録を試みたり、YouTubeにその活動記録をアップしたりなど、本当に幅広く活動をなさっていることに驚かされました。様々な取り組みのお話はどれも興味深く、取り組んでいる人の中にはいろんな言語の話者がいたり、年代が違う人がいたりするけれども、目標に向かってそれぞれが持つ得意な分野を持ち寄りながら着実に進んでいる様子を伺い、自分たちも一緒にこういった活動をやってみたい、こういった活動が自分たちでできたらより一層文化に興味をもってくれる人も増えるだろう、と思いました。

UPOPOYでは、コロナ禍の影響や、設立からまだ数年ということもありますが、原住民族研究中心がなさっているほど多様な活動はまだできていないように感じました。いずれはUPOPOYでも地域や国、世代やルーツを

史的環境上、能够深入地学习到許多。【源島美咲】

下午我們拜訪了國立政治大學原住民族研究中心。當天得以聽聞了在這裡原住民族的族語教育、文化交流等各式各樣的活動，不只局限大學內部的人材，而是集結眾人之力才能積極地進行等的詳情。

例如編輯16族40種方言別有9階多達360冊的語言教材，或嘗試正式上線原住民族語版的維基百科，或在YouTube上傳其活動紀錄等，活動面向如此之廣，讓我們感到非常驚訝。各種付諸實現的過程都令人深感興趣，聽聞了儘管在這些合作的人當中，有說著各種語言的人，有著不同世代的人，但都是朝著目標各自帶著擅長的領域齊聚一堂而踏實地前進的



研修2日目、国立政治大学原住民族研究センターを訪れました。
研修第2天，拜訪國立政治大學原住民族研究中心。

超えた、アイヌ文化に関する様々な活動に取り組み、より良い施設にしたいと思います。

今回の台湾研修での様々な体験は、UPOPOYで働くモチベーションにつながりました。様々な民族の方たちと交流するということは、たくさんの刺激をもらうことができる大切な機会です、今後もこういった交流が続けられればとても嬉しく思います。そして、原住民族研究中心でお話して下さった先生方をはじめ、台湾から日本を訪れる多くの方とぜひUPOPOYでお会いできたらと思います。本当にありがとうございました！【猪子真奈実、桐田晴華】

台湾研修3日目

—九族文化村

台湾原住民アーティストたちの美しく力強い歌声やパフォーマンスはとても気になる存在でしたので、今回の研修で最初に原住民族の舞踊や伝統芸能を見られる九族文化村は、楽しみにしていた訪問先の一つでした。

九族文化村は、広大な敷地をもつ民間の複合レジャー施設と伺っていましたが、実際に訪問し、絶景が広がるロープウェイを体験して、空と山と湖に囲まれた九族文化村のスケールの大きさに息をのみました。

情況，我們自己也想一起從事這樣的活動，我們認為假若自己能做這樣的活動，則對文化更加感興趣的人也會增加吧。

在UPOPOY，我們認為因為新型冠狀病毒肆虐的影響，以及才剛設立沒幾年，從而感受到似乎沒有比原住民族研究中心所進行的各式各樣計畫還能再做更多的了。任何一項計畫，在UPOPOY也都想要致力於與愛努文化有關並超越地區與國家、世代與根源的各式各樣活動，建造更好的設施。

在這次台灣研修的各種體驗，牽動了在UPOPOY工作的動機。與各式各樣的民族成員交流，是一能夠帶給我們許多刺激的可貴機會，我們很期待今後還能繼續這樣的交流。而以在原住民族研究中心與我們談話的諸位老師為首，以及許多來自台灣造訪日本的大家，很希望能在UPOPOY與你們見面。真的非常感謝！【猪子真奈実、桐田晴華】

台灣研修第3天

—九族文化村

台灣原住民歌手強有力又動人的歌聲與演出是非常吸引人的存在，所以對於在這次研修中，最早能夠欣賞原住民族舞蹈與傳統藝能等的九族文化村，是我們非常期待前往拜訪的對象之一。

聽聞九族文化村是一擁有廣大用地的民間複合式休閒設施，而實際走訪後，體驗了絕佳景色開闊的纜車，被天空、山光水色圍繞的九族文化村

各原住民族のエリアには、原寸大で再現された伝統家屋や小劇場あり、サオ族エリアの石音劇場では、早速、歌や打楽器のパフォーマンスを披露していただき、私たちもmukkur（口琴）を演奏させていただきましたが、最後は皆で合奏となって一気に距離が縮まりました。パイワン族エリアでは、儀礼のワークショップで暮らしの中の精神文化の敬虔さを実感し、福球刺体験では皆、夢中になって勝利を狙いました。伝統家屋は丁寧にメンテナンスされ、スタッフにもサービスの教育がなされていると感じました。スタッフや施設のこうした様子から、原住民文化を心から尊敬しているというのが伝わってきました。

九族広場という大きな野外劇場では、各民族の伝統芸能を堪能しました。ステージ上部の電光掲示板にどの民族のどういった内容の踊りなのかが表示され、大変分かりやすかったです。また、司会役の方の、クイズを活かしてお客様との距離をぐっと縮める話術が印象的でした。その後、実際に働く原住民のスタッフの方



規模之大，令人驚嘆幾乎忘了呼吸。

在原住民族各族展示區，有按照實際尺寸再現的傳統家屋與小劇場，在邵族區域的石音劇場，立刻為我們表演了歌聲與打擊樂器，我們也演奏了mukkur（口琴），最後大家一齊合奏一口氣拉近了彼此的距離。在排灣族區域的儀式示範活動中，真切感受到對生活中精神文化的虔敬，在刺福球體驗活動中，大家非常熱衷以勝利為目標。而我們也感受到園區對於傳統家屋謹慎細心地維護，對於工作人員也有一套應對的教育。從工作人員與設施這般狀態來看，打從內心尊敬原住民文化的想法是一直傳遞下去的。

在九族廣場這個大型的戶外廣場，欣賞了各族的傳統藝能。在舞台上方的電子看板會顯示哪一族什麼樣內容的舞蹈，非常容易了解。另外，主持人善用

研修3日目、九族文化村サオ族エリアの石音劇場。
研修第3天，九族文化村邵族區域的石音劇場。



研修3日目、九族文化村パイワン族エリア福球刺体験。
研修第3天，九族文化村排灣族區域刺福球體驗活動。

に話を聞くことができ、皆さんが原住民族の文化を伝えることにとても意欲的で、プライドを持っていることが分かりました。

今回の研修でガイドについてくださった方の解説によって文化についてより理解を深めることができました。パフォーマンスや体験を楽しむだけでなく、建築・祭祀・儀式などの伝統的な意味もお客様に知っていただくことはとても大切だと感じました。また、園内では子ども連れのグループをたくさん見かけました。子どもの中から原住民族の文化などに触れる機会があることは、多様性や広い視野につながり、こうした経験から原住民族が身近な存在となっていくと思いました。

九族文化村は、環境教育法に基づく義務教育課程の環境教育の場としても活用されていると伺いました。原住民族の伝統的な生活文化が

問答方式一口氣就拉近了與觀眾的距離也讓我們印象深刻。之後，能夠與實際演出的原住民工作人員談話，從中得知了大家對於傳揚原住民族文化是充滿著熱情而感到自豪。

在這次研修中，透過為我們導覽的人員的解說，對於文化有了更深一層的認識。不只對表演或體驗樂在其中，也感受到建築、祭祀、儀式等的傳統意義要讓來園區的人有所認識也是非常重要的。另外，我們也看到園區內帶著孩子的團體客很多。小朋友從小開始有接觸原住民族文化等的機會，我們認為這會為多元化與開闊的眼界帶來影響，而從這樣的經驗也會體認到原住民族一直在我們身旁。

聽聞九族文化村也是作為基於環境教育法義務教育課程的環境教育場所，而加以活用的場域。我們希望在



研修3日目、九族文化村パイワン族エリア。
研修第3天，九族文化村排灣族區域。



研修3日目、九族文化村の九族広場。
研修第3天，九族文化村的九族廣場。

感じられる空間で台湾の自然環境も体験でき、自然環境の理解も深めたいと思いました。法律の背景などは異なりますが、日本でもアイヌ文化とともに自然環境についても伝えられるプログラムを提供できれば、相互に理解を深めてもらえると感じました。

今後UPOPOYがそういった発信拠点になれるように、プログラム実践のなかでこの研修で得たものを活かしていきたいと思います。【秋元阿弥】

可以感受到原住民族傳統文化生活的空間中，也能體驗台灣的自然環境，而加深對自然環境的認識。我們覺得法律背景等雖然各有所異，在日本若是也能提出傳達有關結合愛努文化與自然環境的表演節目，則能為彼此帶來更深刻的理解。

希望今後UPOPOY能成為這樣推廣宣傳的據點，想要在計畫實踐的過程活用此次研修所獲。【秋元阿弥】

台灣研修第4天（最後一天） —臺灣原住民族文化園區

台灣研修所有拜訪單位都很誠摯地歡迎我們，即使到了最後一天所到的臺灣原住民族文化園區也是，從我們快到的路上還沒下車的遊覽車外，就已有歌聲傳來，熱烈地歡迎我們，令人難以忘懷。在進入園區的大門外

台灣研修4日目（最終日） —台灣原住民族文化園區

台灣研修のすべての訪問先の皆さんが、私たちが心から歓迎してくださいましたが、研修最終日に伺った台湾原住民族文化園區でも、私たちが着いた途端、まだ降りていないバスの外から歌声が響いてきて、熱烈に迎えてくださったことは忘れられません。園區の入場ゲートの外で、園區の皆さんの音頭で私たちを巻き込んで歌ったり踊ったり。私たちの心も体も動かされてしまう、そんな空気を自然と作りだせるパフォーマンスは素晴らしいものでした。このようにフレンドリーなスタッフばかりということは、見ず知らずの土地に来た観光客にとって、とても心強いはずで、お客様を歓迎するのは当たり前のことのように、UPOPOYでもっとも参考にすべき点だと日々の業務で改めて感じています。

研修3日目、九族文化村。
研修第3天，九族文化村。

面，在園區大家的合唱下帶領我們邊唱邊跳。我們的內心與身體全都律動了起來，自然地營造出那樣氣氛的演出真的是非常美好。園區內通通是這樣親切的工作人員，對於素不相識地方來的觀光客而言，一定會感到非常安心。歡迎參訪者像是理所當然的

研修3日目、九族文化村。
研修第3天，九族文化村。



とても広大な文化園区内には原住民族言語の標識があり、壁面にも原住民族のアートが展示されていて、原住民族の雰囲気を感じられるように視覚的にも工夫されていると思いました。また、園内を移動するバスの中では日本語で解説するだけでなく、地元の民族語の挨拶を教えてください、様々な場所・場面で充実した時間を過ごすことができました。

ナルワン劇場の公演では学ぶべき部分が多く、とても刺激をいただきました。公演の前説では、その場にいるお客さんをたった一人で注目させてしまう話術に圧倒されました。また、公演時間約50分という長い時間、途切れることなく歌いや踊りが続き、そのどれもが圧巻されるばかりでしたが、一人一人が集中力を切らさず最高のパフォーマンスを維持し続ける姿勢にとっても刺激を受けました。私の主な業務がアイヌの芸能の披露なので、舞台上立つ同じ立場として体力的にも（緊張などの）精神的にも大変

事、讓我們在UPOPOY每天工作時再度感受到這是最值得參考的重點。

在廣大的文化園区内，有原住民族語的標識，甚至連牆面上也展示了原住民族的藝術，在視覺上有著一番巧思似乎讓人能感受到原住民族的氛圍。而園区内接駁的遊園車上用日語不只有解說，還教了我們當地族語的打招呼，在各式各樣的場所與情景都能度過充實的時光。

在娜麓灣樂舞劇場的表演可以學到的部分很多，受到很大的刺激。在表演前的說明當中，對於只以一個人便吸引在場觀眾目光的說話技巧感到嘆為觀止。而在演出時間約50分鐘這麼長的時間裡，沒有間斷地持續唱歌與跳舞，儘管每一段都像是精彩的演出，但讓我們感受到非常大的震撼是，每一位表演者都是聚精會神地一



研修4日目、台湾原住民族文化園区、園内を移動するバスの中では日本語で解説するだけでなく、地元の民族語の挨拶を教えてください。
研修第4天，臺灣原住民族文化園区，園区内接駁的遊園車上用日語不只有解說，還教了我們當地族語的打招呼。



研修4日目、台湾原住民族文化園区、ナルワン劇場の公演では学ぶべき部分が多く。
研修第4天，臺灣原住民族文化園区，娜麓灣樂舞劇場的表演可以學到的部分很多。

なことを理解していますが、そのような部分を表には一切ださず、とっても楽しそうに踊る姿は本当にかっこよかったです。劇場には地元の小中学生たちもいましたが、小さい子でも飽きずに真剣に見ている様子を見て、誰もが引き込まれるプログラムであることを実感しました。

公演後、演者の皆さんと交流させていただき、アミ族の伝統衣装を試着させていただくこともできました。同行した常本理事長からは、それ以降「アミ族の彩さん」と呼ばれるようになりました。衣装はとても鮮やかで魅力的な衣



研修4日目、台湾原住民族文化園区、アミ族の伝統衣装を試着。
研修第4天，臺灣原住民族文化園区，試穿阿美族的傳統服裝。

直保持最好的演出狀態。我主要的工作內容是演出愛努的藝能，所以作為站在舞台同樣的立場能理解無論是體力上與（感到緊張等的）精神上都是非常辛苦的，那些部分全不顯露於外，而呈現出像是非常開心地跳舞姿態真的是很棒的事。在劇場也有在地的小學生，看到即使是小朋友也不會覺得無聊地認真欣賞的模樣，真切感受到這是任何人都會被吸引的演出節目。

演出結束後，我們與表演者大家進行了交流，也有機會試穿了阿美族的傳統服裝。結果，同行的常本理事長從那以後就開始叫我是「阿美族阿彩」。服裝非常鮮艷也充滿魅力，在背部有像是用別針固定住感覺的服裝



研修4日目、台湾原住民族文化園区、園区の入場ゲートの外で、園区の方々の音頭で私達を巻き込んで歌ったり踊ったり。
研修第4天，臺灣原住民族文化園区，在進入園区的大門外面，在園区大家的合唱下帶領我們邊唱邊跳。

装ですが、背筋がピンとなるような締め付け感のある衣装の上に装飾具も多く、アイヌの正装とはまた違った感覚で、なかなかできない体験に心がウキウキしました。

一日一日が感動、学び、いろいろなことを与えていただいた研修になりました。これからこういった交流を通してお互いの文化の伝承について学び、それらの土地でお互いの文化を発信し、刺激を与え合えるような交流がこれから先も続いていくことを願っています。iyayraykere（愛努語的多謝多謝）！【上河彩】。◆

上有許多裝飾品，與愛努的盛裝有著不一樣的感覺，對於這樣難能可貴的體驗實在雀躍不已。

這是一天一天帶給我們許多感動、學習、各式各樣體驗的研修交流。有關相互文化的傳承今後也能透過這樣的交流、學習，在各自的土地上宣傳推廣彼此的文化，希望未來也可以持續進行能夠相互激盪般的交流。iyayraykere（愛努語的多謝多謝）！【上河彩】。◆

作者簡介



落合研一 OCHIAI Ken-ichi

1975年新潟県新潟市に生まれる。北海道大学法学部に入学した1999年より札幌市在住。同大学大学院法学研究科博士後期課程を中途退学し、2011年2月に同大学アイヌ・先住民研究センター助教に着任。2014年4月より現職准教授。専門は憲法学。

落合研一 OCHIAI Ken-ichi

1975年出生於新潟縣新潟市。1999年入學北海道大學法學部後居住於札幌市。同大學大学院法學研究科博士後期課程中途休學，2011年2月就任同大學愛努・先住民研究中心助教。2014年4月起就任現職准教授。專攻為憲法學。



古巢晴香 FURUSU Haruka

UPOPOY内アイヌ語名：hecaka（「晴れる」の意。）
山口県宇部市出身、1987年生。幼少期の約4年間を台北市で暮らす。東海大学文学部北欧学科卒業後、博物館等を経て2020年からアイヌ民族文化財団民族共生象徴空間運営本部文化振興部体験教育課に勤務。2021年に食チームからkotanチームに異動。

古巢晴香 FURUSU Haruka

在UPOPOY的愛努族名：hecaka（「晴朗」之意。）
山口縣宇部市人，1987年生。童年時代約有4年的時間在台北市生活。東海大學文學部北歐學科畢業後，曾在博物館等處工作，2020年起任職於愛努民族文化財團民族共生象徴空間營運本部文化振興部體驗教育課。2021年從飲食小組調動至kotan小組。



笹村律子 SASAMURA Ritsuko

UPOPOY内アイヌ語名：rituru（「途中」の意。）
アイヌ民族。北海道帯広市出身、1970年生。両親ともにアイヌ民族。30歳からアイヌ文化に取り組み始め、アイヌ文化勉強会の設立、テレビやラジオでのアイヌ文化の発信の他、アイヌ文化外部講師として高校や大学等で講義。現在、民族共生象徴空間運営本部のkotanゾーンの業務に従事。

笹村律子 SASAMURA Ritsuko

在UPOPOY的愛努族名：rituru（「途中」之意。）
愛努族。北海道帶廣市人，1970年生。雙親都是愛努族。30歲起開始致力於愛努文化，成立愛努文化學習會，除了在電視、廣播等推廣宣傳外，也擔任愛努文化外部講師在高中與大學等講課。目前負責民族共生象徴空間營運本部的kotan區域業務。

作者簡介



源島美咲 GEJIMA Misaki

UPOPOY内アイヌ語名：keci（「呻吟する」の意。gejiというあだ名に似た音から。）
北海道千歳市出身、2000年生。北海道芸術高等学校マンガイラストコース卒業後、2019年からアイヌ民族文化財団民族共生象徴空間運営本部に勤務。現在、伝統芸能課主事。主にアイヌ民族の伝統芸能等の披露に従事。

源島美咲 GEJIMA Misaki

在UPOPOY的愛努族名：keci（「呻吟或吟詠」之意。從發音近似geji這個綽號而來。）
北海道千歳市人，2000年生。北海道藝術高等學校漫畫插畫課程畢業後，2019年起任職於愛努民族文化財團民族共生象徴空間營運本部。目前為傳統藝能課專職人員。主要從事愛努族傳統藝能等的演出。



猪子真奈実 INOKO Manami

UPOPOY内アイヌ語名：osmapo（「突進する子」の意。猪子という漢字の意味から。）
北海道室蘭市出身、1991年生。藤女子大学文学部中途退学後、他の職を経て2019年からアイヌ民族文化財団民族共生象徴空間運営本部に勤務。現在、伝統芸能課主事。主にアイヌ民族の伝統芸能等の披露に従事。

猪子真奈実 INOKO Manami

在UPOPOY的愛努族名：osmapo（「勇猛向前衝的人」之意。從漢字「猪子」的含義取名。）
北海道室蘭市人，1991年生。藤女子大學文學部輟學後，曾做過其他工作，2019年起任職於愛努民族文化財團民族共生象徴空間營運本部。目前為傳統藝能課專職人員。主要從事愛努族傳統藝能等的演出。



桐田晴華 KIRITA Haruka

UPOPOY内アイヌ語名：kuwannno（「真っすぐ」の意。自身の性格から。）
アイヌ民族。北海道浦河町出身、1993年生。札幌大学でアイヌ文化等を学ぶ。卒業後、2019年からアイヌ民族文化財団民族共生象徴空間運営本部に勤務。現在、伝統芸能課主事。主にアイヌ民族の伝統芸能等の披露に従事。

桐田晴華 KIRITA Haruka

在UPOPOY的愛努族名：kuwannno（「直率」之意。從自己的個性取名。）
愛努族。北海道浦河町人，1993年生。在札幌大學學習愛努文化等。畢業後，2019年起任職於愛努民族文化財團民族共生象徴空間營運本部。目前為傳統藝能課專職人員。主要從事愛努族傳統藝能等的演出。



秋元阿弥 AKIMOTO Aya

UPOPOY内アイヌ語名：hekacikoraci（「まるで男の子のようだ」の意。）
北海道帯広市出身、1983年生。北星学園大学社会福祉学部卒業後、東京音楽大学大学院・民族音楽研究所に進学し現在も在学。2020年からアイヌ民族文化財団民族共生象徴空間運営本部文化振興部体験教育課に勤務。楽器チームで楽器演奏体験プログラムを担当。

秋元阿弥 AKIMOTO Aya

在UPOPOY的愛努族名：hekacikoraci（「像個男子漢」之意。）
北海道帶廣市人，1983年生。北星學園大學社會福祉學部畢業後，繼續在東京音樂大學大学院・民族音樂研究所深造，目前在學中。2020年起任職於愛努民族文化財團民族共生象徴空間營運本部文化振興部體驗教育課。在樂器小組負責樂器演奏體驗活動課程。



上河彩 KAMIKAWA Aya

UPOPOY内アイヌ語名：pecanpo（「やせっぽち」の意。自身の外見から。）
アイヌ民族。白老町出身、1997年生。札幌大学のurespa（「育て合い」の意）クラブに所属しアイヌ文化を学ぶ。卒業後、アイヌ民族文化財団民族共生象徴空間運営本部に勤務。現在、伝統芸能課主事。主にアイヌ民族の伝統芸能等の披露に従事。

上河彩 KAMIKAWA Aya

在UPOPOY的愛努族名：pecanpo（「瘦小的人」之意。從自己的外表取名。）
愛努族。白老町人，1997年生。參加札幌大學的urespa（「相互育成」之意）社團，學習愛努文化。畢業後，任職於愛努民族文化財團民族共生象徴空間營運本部。目前為傳統藝能課專職人員。主要從事愛努族傳統藝能等的演出。